

大麦の生育は平年より早く、止葉展開期は4月1日～4月5日頃で地域やほ場間のばらつきが大きくなっています。

今後の気温が平年並みに推移した場合、**出穂期は4月12日～16日頃**と予想されます。防除が遅れないよう準備願います。

1 赤かび病の防除

出穂期以降に雨や高温多湿条件が続くと、赤かび病が発生しやすくなります。

開花時の防除が最も効果的です。ほ場ごとのばらつきが大きいいため、出穂状況を確認し、適期に防除を行いましょう。

【防除時期の目安】

1回目	穂揃期（開花始め）	4月15日～19日頃
2回目	1回目から7日後	

【防除薬剤】

		薬剤名	散布量・希釈倍数
粉剤	1回目	ワークアップ粉剤DL	3kg/10a ※散布量に注意
	2回目	トップジンM粉剤DL	4kg/10a
液剤	1回目	ワークアップフロアブル	動力噴霧機 2,000倍液 150ℓ/10a 無人航空機 16倍液 0.8ℓ/10a
	2回目	トップジンMゾル	動力噴霧機 1,500倍液 150ℓ/10a 無人航空機 8倍液 0.8ℓ/10a

注意事項

※防除時期に降雨が続く場合でも、雨の晴れ間をみて適期防除を行いましょう。

※散布は風の弱い時間帯を選ぶなど、周辺作物への飛散防止に努めましょう。

農協での無人航空機防除は、生育に応じて実施します。

2 排水対策の徹底

用水路や隣接水田からの浸透水に備え、排水溝の手直しや排水口との連結を点検し、登熟期間中の排水対策を徹底しましょう。

3 カラスノエンドウの除去

ほ場内やほ場周辺でカラスノエンドウを見かけたら速やかに除去しましょう。

春の農作業安全運動（3月1日～5月31日）